

科目名	情報処理演習	科目コード 104
-----	--------	--------------

学年・学科等名	1 学年	機械システム工学科	必修科目
単位数・開講期	2 単位	通年	
総時間数	60 時間		
担当教員	宇野 直嗣		

本校の教育目標	3	機械システム工学科の教育目標	2
---------	---	----------------	---

JABEE関連	教育プログラム科目区分	
	教育プログラムの学習・教育目標	
	JABEE基準	

教科書名	宇野直嗣 著, 情報処理演習—Windows と各種アプリケーションソフトの操作方法—
補助教材	プリント, PC, プロジェクター
参考書	ネットワーク社会における情報の活用と技術[情報教育テキスト] (岡田正・高橋参吉・藤原正敏 共著, 実教出版) 入門 情報リテラシー (高橋参吉・松永公廣・若林茂・黒田芳郎 共著, コロナ社)

A. 教育目標

パーソナルコンピュータの基本的な操作方法および種々のアプリケーションソフトの操作方法の習得, さらに情報セキュリティを含めた情報を扱う上での一般常識の習得を主な目的とする。

B. 概要

パーソナルコンピュータを利用して情報を取り扱う時の社会的常識とコンピュータ内の基本的な処理技術を学ぶ。また, オペレーティングシステム(OS), ブラウザ, 文章作成ソフト, 表計算ソフトの基本操作と応用, 各種ソフトウェアを総合的に活用できることを授業および演習によって学ぶ。

C. 学習上の留意点

- ①複数のアプリケーションソフトを使用するため, 個々のソフトの使用法と連携方法をしっかりと習熟することが重要である。また, 情報セキュリティに関する知識の習得も重要である。
- ②4 回の定期試験の平均点が 60 点未満の場合は, 自動的に単位未修得とする。
- ③未提出の課題がある場合は, 自動的に単位未修得とする。

D. 評価方法

試験(50%), 課題(25%), 取組度(15%), 課題提出期限(10%)にて評価する。

E. 授業内容

授業項目	時間	内 容
ガイダンス	1	・授業の概要と評価方法の説明
1. 情報およびネットワークの活用	6	・情報およびネットワークを利用する上での社会常識や基本用語を習得できる。
2. コンピュータに関する一般用語と数値表現	8	・コンピュータに関する一般用語を習得できる。 ・2 進数, 10 進数, 16 進数への数値の変換を習得できる。 ・ハードウェアやソフトウェアに関する基礎的な用語を習得できる。
(前期中間試験)	1	
3. Windows の基本事項と基本操作	1	・Windows に関する歴史的背景, 基本用語および基本操作を習得できる。
4. Microsoft IME と日本語入力	1	・Microsoft IME の基本事項と日本語のローマ字入力について習得できる。

授業項目	時間	内 容
5. Eメールの利用方法	2	・Eメールを利用する上でのエチケット, 基本設定および基本操作を習得できる。
6. Internet Explorer の基本事項とネット検索のコツ	3	・Internet Explorer の基本操作を習得できる。 ・インターネット上の情報検索方法を習得できる。
7. Microsoft Word の操作(基本編)	3	・Microsoft Word の基本操作を習得できる。
8. Microsoft Word の操作(応用編)	4	・インターネット上で公開されている情報を元にした文書作成方法を習得できる。 ・図を貼り付けた文書の作成方法を習得できる。
(前期末試験)		
9. HTML 言語を用いた Web ページの作成	10	・Web ページの作成ができる。 ・HTML 言語を用いたホームページの作成を通して, プログラミング操作に慣れ親しむことができる。
10. Microsoft Excel の操作(基本編)	5	・Microsoft Excel の操作方法(数値入力, セル参照, グラフ作成)を習得できる。
(後期中間試験)		
11. Microsoft Excel の操作(応用編)	6	・関数を利用した計算方法を習得できる。 ・Microsoft Excel で作成した表やグラフを Microsoft Word で作成した文書に貼り付けることができる。
12. Microsoft Excel を用いたシミュレーション	6	・Microsoft Excel の操作方法の理解度を深めることができる。 ・加法定理に代表される三角関数の合成についてシミュレーションを行い, 三角関数の公式の理解度を深めることができる。 ・放物運動のシミュレーションにより, 放物運動に代表される等速運動および等加速度運動の理解度を深めることができる。
13. ファイル形式とファイル変換	2	・種々のファイル形式と拡張子に関する知識を習得できる。 ・異なるアプリケーションソフト間でファイルの授受ができる。
(学年末試験)		

F. 関連科目

数学 I B, 物理, 情報基礎, CAD/CAM, プログラミング基礎, 機械システム工学実験